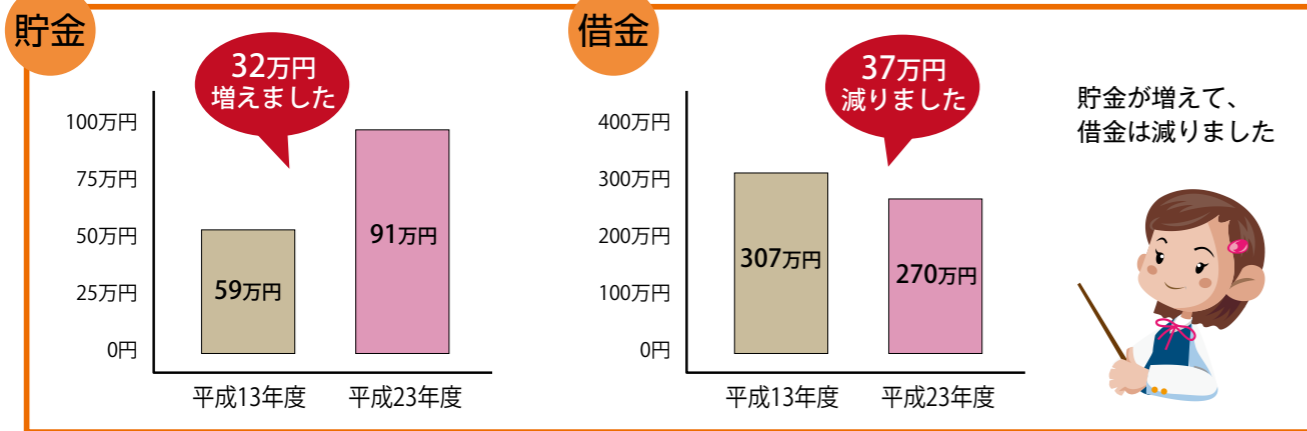




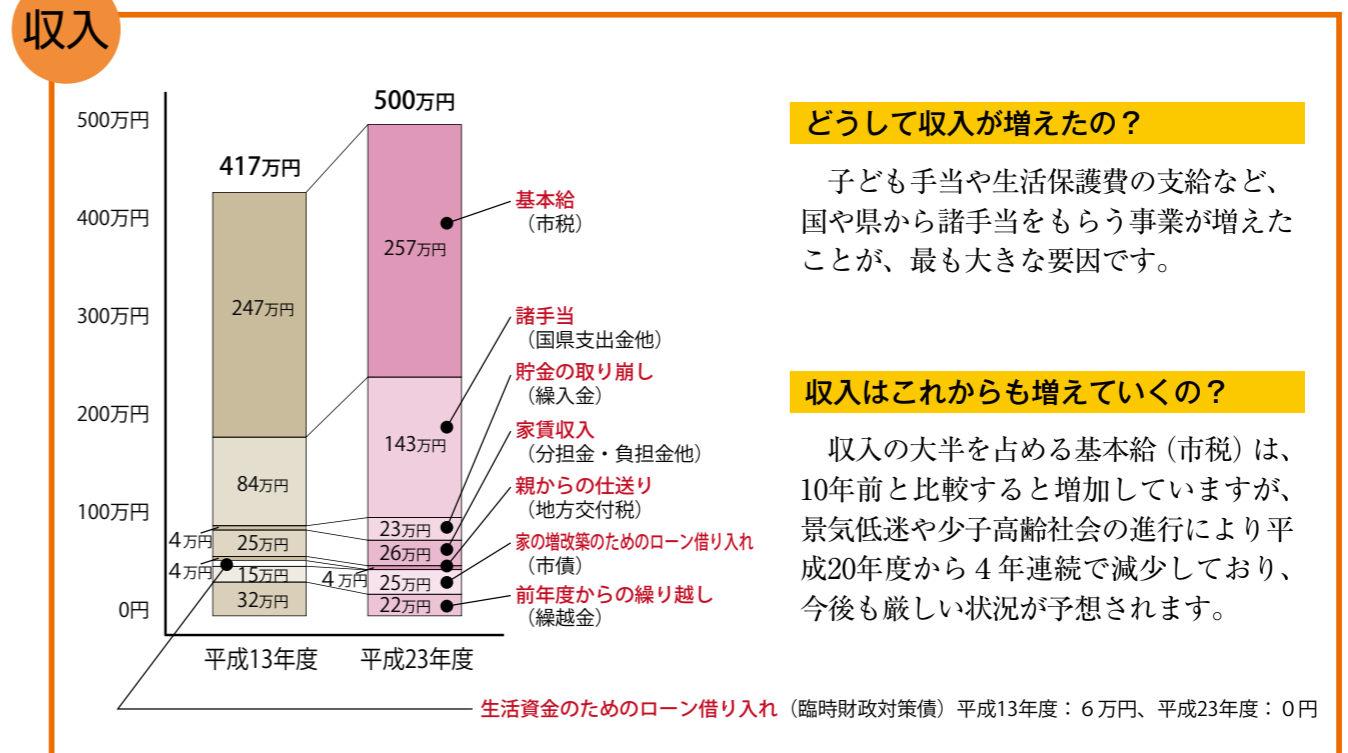
年収500万円の家計に例えると  
どのくらい貯金と借金があるの？



貯金が増えて、  
借金は減りました



10年前とは、どう変わったの？



どうして収入が増えたの？

子ども手当や生活保護費の支給など、国や県から諸手当をもらう事業が増えたことが、最も大きな要因です。

収入はこれからも増えていくの？

収入の大半を占める基本給 (市税) は、10年前と比較すると増加していますが、景気低迷や少子高齢社会の進行により平成20年度から4年連続で減少しており、今後も厳しい状況が予想されます。



どうして借金をするの？ ~市債を発行する理由~

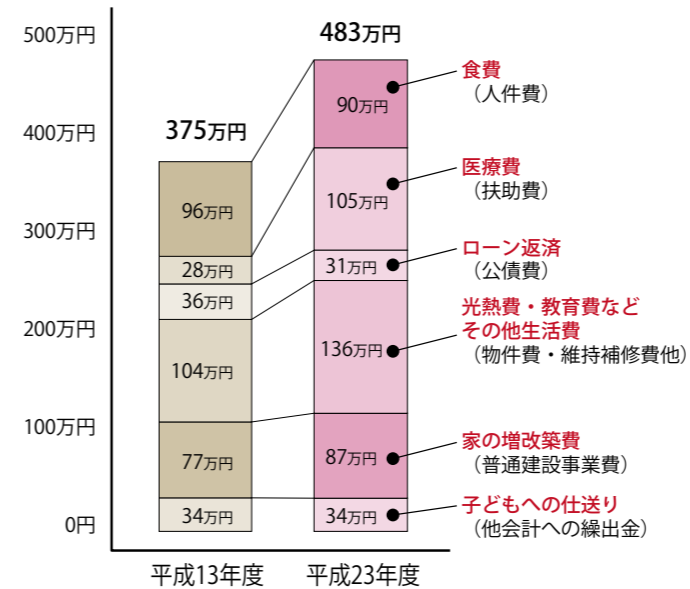
多額の費用がかかる公共施設や道路などを建設するとき、市は長期のローン (市債の発行) を組んでいます。ローンを組まないで建設をすると、建設時の市民の負担が大きくなるほか、その影響でほかのサービスの低下をまねいてしまう可能性もあります。そこで、建設費用を将来にわたって分割して返済をしていくことで、その施設を使う「次世代の市民」と「建設当時の市民」との間に不公平が生じないようにしています。

お財布の健康診断をしました！

毎年、財政健全化法に基づき、お財布の健康診断をしています。5つに分かれている全てのお財布の中身、借金や貯金の状況などが判断材料になります。財政健全化法では、「早期健全化基準」を超えると「経過観察」=「黄信号」とされ、「財政再生基準」を超えると「要治療」=「赤信号」と判断されます。平成23年度の健康診断の結果、海老名市は早期健全化基準を大きく下回り、「健康状態良好」と診断されました。

検査項目	検査結果	黄信号 (早期健全化基準)	赤信号 (財政再生基準)
一般会計の赤字の割合 (実質赤字比率)	赤字はありません	12.32%	20%
すべての会計の赤字の割合 (連結実質赤字比率)	赤字はありません	17.32%	35%
年間の借金返済額の割合 (実質公債費比率)	1.0%	25%	35%
将来負担する見込みの負債の割合 (将来負担比率)	算定されませんでした	350%	

支出



10年前とは、どう変わった？

食費とローン返済は減少していますが、医療費が大幅に増加しています。医療費の多くは制度として支出が義務づけられており、内容の見直しが柔軟にできる家の増改築費とは違い、節約が難しい経費です。食費・医療費・ローン返済が増加すると、自由に使えるお金が減ってしまうため、今後も注視が必要です。

医療費(扶助費)が増えているのはなぜ？

医療費のうち、子どもに関するものは約4倍、障がい者と生活保護に関するものは約3倍増加しました。社会情勢の変化や国の社会保障制度の改訂が要因と考えられます。

